



みどりのきずな

平成25年1月1日発行 第19号

【緑区地域福祉計画基本理念】

『地域住民のきずなを深め、みんなが
手を結び合い、住みよいまちづくりを推進する』

—明るい社会を築いてきた高齢者のために—

—未来を築く子どもたちのために—

—障害者(児)が希望を持って地域に生き、働けるために—

編集: 緑区地域福祉計画推進協議会広報部会

発行: 緑区地域福祉計画推進協議会事務局

(緑保健福祉センター 高齢障害支援課内)

千葉市緑区鎌取町 226 番地 1

TEL:043(292)8142 FAX:043(292)8276

「見守り活動」は地域住民の

絆の始まり

委員長 岡本 博幸

見守りネットワーク検討委員会(緑区進協議)による「高齢者見守りネットワーク構築に関するアンケート調査」を平成24年9月～11月にかけて実施いたしました。調査対象は、民生委員・町内自治会長273名です。回答者数は194名で全体の71%でした。設問(2)「一人暮らしの高齢者の見守りを必要と考えますか」は、必要だと回答した方は91%。設問(3)「高齢者のみの世帯の見守りを必要だと考えますか」では、必要だと回答した方は89%でした。両設問とも地域における見守り活動の必要性の高さが示された数字だと思えます。

この事実から起こる様々な課題をいかに解決していったらよいか、その一つとして見守り活動がクローズアップされてきたのです。

「見守り」とは、「見る」と「守る」という二つの活動です。「みる」には「見る、観る、診る、視る、看る」があり、それぞれ意味を持っていますが、自分の目で確かめ判断し適切に対処するということです。また、「まもる」とは「見定める、目を離さずに見る、くいとめる、保護する、大切にする、世話をする」という意味が述べられています。見守りとは地域の方々が要支援者に対してみんなが手を差し伸べ、声を掛け合い、世話をし、温かく見守っていく共助の姿ではないでしょうか。

見守り活動は、地域や近所に問題が起きたとか組織があるから活動をするものではありません。地域社会が形成されれば必然的に人と人の共存が始まり、人間としての絆が生まれ、人間的なつながりが生れてくるのは当然のことだと思います。それが助け合いの根本精神だと思っています。

道元禅師の言葉に「以て絆為道心」という言葉があります。孫引きで申し訳ございません。「絆は道心を基と

す」と訳すのでしでしょうか。道心とは「私欲におおわれぬ心」とありま

すから、絆とは私利私欲ではなく人

間のまごころから生れる行為なので

す。この行為こそが見守りの原点で

はないでしょうか。

推進協会は、昨年度、磯辺・幸町地

区にて研修会を開催。本年度は花見

川区鷹の台自治会「地域福祉部」・若

葉区いずみ台ローズタウン自治会

「お元気確認委員会」の方から①活

動の動機②組織③活動内容④その結

果⑤今後の在り方について講演をし

ていただきました。多くの示唆を得

ることができました。

推進協会は、小委員会を設置し5回

の会合を経て、見守りネットワーク

試案の作成、第一回アンケート調査

内容の検討、調査、集計、考察、ま

とめをおこないました。講演後、第

二回のアンケートを実施し(手上げ

方式・同意方式・地域特有の方式)

区としての一步を踏み出したいと思

っています。

まずは地域にあった運営や方法で

地域ぐるみの見守り活動を考えてい

ただき実施できればと思っ

ています。一滴の水の輪が広がるように区

全体に広がり、絆のある社会の実現

をめざしていききたいと思

います。



誉田地区

◆緑区老人クラブ連合会

(緑区老連)の活動について

緑区老連は千葉市老人クラブ連合会の組織下に属し2地区老連18単位クラブ(会員数730名)の高齢者で構成され、それぞれの町内自治会を基盤として高齢者が自由の下に集まり第二の人生をお互いに助け合い健康保持に自分達に出来るボランティア活動にと過去に培った技術や経験を出し合い地域にあった活動をしている団体です。

まずは介護予防を目的とした老化を防ぐ為の各種スポーツで健康を保ち、芸能活動や各種ゲームなどで頭の老化を遅らせる事をクラブごとに計画し実施しています。一例を挙げるなら区老連主催のゲートボール大会、グラウンドゴルフ、輪投げ大会などです。ボランティア活動としては学童通学の見守り、公共施設の草取りやゴミ拾い、各地区のお祭りや運動会、子供会との餅つき大会、カルタ会からハロウィンなどがあります。

参加・協力している各クラブ独自

の活動により町内自治会に溶け込んだ第二の生活を楽しく生き生きと過ごしており、老人団体名ではイメージが合わないと呼称を「いきいきクラブ千葉」として参加して戴き急速に進む高齢化時代に歳を忘れて楽しい老後を生きる者達を目指している団体です。

ちなみに今年「社団法人千葉市老人クラブ連合会」が出来て50年になる節目の年にあたり、いみじくも法改正により新しい法人組織に衣替えを計画しており、緑区内でも現役を卒業されこれからの人生を独り歩きされている若く元気な熟年の方々には是非その地域に住まわれている人とあるいは既に成立しているクラブに参加され独りでは出来ないボランティアや好きな道を共に楽しめるグループにご参加ください。

グラウンドゴルフ大会



最近の主な活動

- 10/20 区老連・誉田南公園
グラウンドゴルフ大会
90名参加
- 10/24 きらめきクラブちば
創立50周年記念
グラウンドゴルフ大会
青葉の森 270名参加
- 10/30 区老連・誉田公民館
第13回芸能祭
180名参加

土気地区

◆健康講演会(土気地区部会)

11月16日(金) 土気公民館で精神科医の井貫正彦先生による「高齢者のこころの健康」の講演が行われました。60名以上の方が参加されました。

良い睡眠、精神的ストレスをなくし適度な運動、食べ物を良く噛むなどして健康的な心で生活をおくれるよう心掛けるのが良いということです。

睡眠も必要に応じて薬の利用があっても良いということ等大勢の参加者が興味深く聞いていました。



◆昭和の森ウォークラリー

(土気地区部会)

11月23日(金) 昭和の森で恒例のウォークラリーが行われました。この日は天気予報どおりの雨で気温も低く、コンディションは最悪。例年に比べ参加者は少なかったのですが、寒い中、30名の方にご参加いただきました。スタッフとしては、町内自治会役員や社会体育振興会、子ども会のリーダー、ボランティアの方々にご協力をいただき無事に終了しました。

このウォークラリーは毎年11月23日に開催しており、例年は200名を越える方が参加しています。悪天候の中、チェックポイントでは予定していたゲームやクイズを行うことが出来ませんでした。昼には温かい豚汁を味わい、身も心も温まりました。子供から大人まで一緒に楽しめるこのような行事は今後も継続していきたいと考えています。



椎名地区

◆私にも出来たよ!

昔の遊びに挑戦しました



こうして編むんだ

11月10日の「しいのみ祭」には地域のみなさんに昔の遊びをいろいろ教わり、挑戦してみました。物が少なかつた時代には、みんなこうして遊び道具も自分で作り、大空の下で駆け回って楽しんだ話も聞くことが出来ました。



竹とんぼ作りに苦戦
うまく飛んでくれるかな



見てよ!見てよ!
乗れたよ、歩けたよ!



◆へえーそうだったんだ!
お年寄りと子供たちと
たのしく語り合いました

11月15日のふれあい食事会には椎名小学校の6年生37名が来訪しお年寄りとの交流を深めました。

五十数年前の小学校の写真を見ながら、お年寄りの子供の頃の生活ぶりを熱心に聞きました。

食べ物、履物は、遊びは、など、また「目上の人を敬う」「世のため人のためになる人に」「物を大切に使う」「思いやりの心をもつ」などの修身教育を受けた話なども言い伝えていました。

昔の生活話に聞き入る



お互いに助け合って
暮らしたんだ

おゆみ野地区

◆私たち町内自治会の

見守り活動について

先日、私たちの町内自治会の運営役員会を開きました。いつもの様に連絡事項、および各班長の報告・各担当の報告の後、いくつかのテーマを協議しました。その中で今回のメインテーマ「自治会内の見守り活動」について協議しました。高齢者・障害者・独居高齢者等の情報については地域担当の民生委員も民生委員法の守秘義務があるので、相手が自治会長といえども情報は明らかにできません。そのような中で個人情報調査を如何に進めるかと設問した処、数人の役員より「この自治会

の会員になって20年超になるのであらましの近所のご家庭の様子は把握できている」、「今までも、いつも心配りをしているので大丈夫」と全役員一致した結論となり心が温まりほっといたしました。

◆おゆみ野こみこん祭りを終えて

第17回こみこん祭りが11月24日〜25日で開催されました。昨年同様にまちカフェライブも継続され、新たなお店も加わり賑わったのではないのでしょうか。今年のテーマは光、子どもたちの作成したポスターがおゆみ野の街を彩りました。初めての試みは23日に企画した、千葉県警察音楽隊、明德高校、千葉南高校、土気高校の吹奏楽部による個性豊かな演奏会でした。これは前夜祭としてこみこん祭りを盛り上げるために有意義だったと感じます。この街の多くの方に慕われる文化祭として定着して欲しいお祭りです。



迫力のサウンド



小委員会

コーナー

地域福祉計画推進協議会内に設置した小委員会の活動報告です。

◆見守りネットワーク検討委員会

高齢者や障害者などを地域でいかに見守っていくか、またどのようなネットワークが必要かを検討する小委員会です。1ページで紹介したとおり、見守り活動に関する講演会を12月8日にあすみが丘プラザにおいて開催しました。100名近くの町内自治会関係者や民生委員が参加しました。

◆小中学校と施設入所者との交流

児童生徒と高齢者のお手紙交流を進める小委員会です。現在3校の小中学校と13の施設で交流が進んでいます。

◆災害マップ検討委員会

12月6日に1回目の会議を開催し、災害マップには何が必要か協議されました。

委員の一言

コーナー

千葉県身体障害者連合会

坂井 和彦

平成23年6月に「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援などに関する法律」が成立し、この秋の10月1日に施行されました。それが「障害者虐待防止法」です。1990年以降、施設内虐待や使用者による虐待などが数多く報道されてきましたが、社会的に問題視される事件が注目を集め、法律制定が望まれていました。

虐待防止法について学んでいくと、無理解が根底にあることがわかります。それで個人や地域の住人たちに、人権意識を考えてもらう機会をつくる必要性を感じます。

今回の法律制定のみならず、「通報」「相談窓口」「体制整備」「ネットワーク」などの条項作り、そして問題提起が行われる度にさまざまな地域のネットワークとの連携、人権を守るための手話通訳であることを認識させる運動などが求められるようになります。



社協情報

コーナー

子育てサロン土気

満8歳を迎えた「子育てサロン」

毎月第3・第4の木曜日、午前10時～12時までの間でいつでも受け付けています。

サロンではお母さん達が安心してくつろげる場所作りをめざし活動していますが、春と秋には昭和の森で野外活動をしたり、地域の中学校（土気中・越智中・土気南中）の思春期ふれあい体験学習に講師として親子で参加しています。サロンには毎回20組前後の親子が参加、あすみが丘プラザの和室はとても賑やかです。



◆駅伝大会

2月17日(日)に四季の道駅伝大会が泉谷小学校で行われます。今年は大人を参加対象にしたマラソンも同時に行います。

おしらせ

平成24年10月1日から千葉市あんしんケアセンターが増設されました。地域で暮らす高齢者の身近な相談先です。お住まいの住所により相談先が決められています。

★千葉市あんしんケアセンター鎌取(新設)

ゆみくる鎌取ショッピングセンター5階

電話:043(293)6911

●千葉市あんしんケアセンター菅田

緑区高田町1084-88

電話:043(300)4855

●千葉市あんしんケアセンター土気

バーズモールC棟1階

電話:043(295)0110

編集後記

見守りネットワーク検討委員会が発足され、高齢者や障害者などを見守っていくか検討することになりました。民生委員をはじめ、自治会役員、関係団体代表などによる本格的な議論によって充実した体制を構築できると期待しています。(S)